

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年 7月 28日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
愛知県名古屋市中区東桜2丁目18番31号

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
リゾートトラスト(株) 代表取締役 伏見有貴
(代理人)エクシブ琵琶湖総支配人 伊藤慎也

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定(変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	リゾートトラスト株式会社 代表取締役 伏見有貴
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	愛知県名古屋市中区東桜2丁目18番31号

1 事業所の概要

事業所の名称	リゾートトラスト株式会社 エクシブ琵琶湖					
事業所の所在地	滋賀県米原市磯1477-2					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	7	5	9	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 リゾートクラブ
事業の概要	会員制リゾートホテル					
従業員の数	349	人	操業時間	24	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	2	台	熱源設備	3	台
	コンプレッサ		台	空気調和設備		台
				照明設備		台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	4	年度	報告対象年度	6	年度
	終了年度	9	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

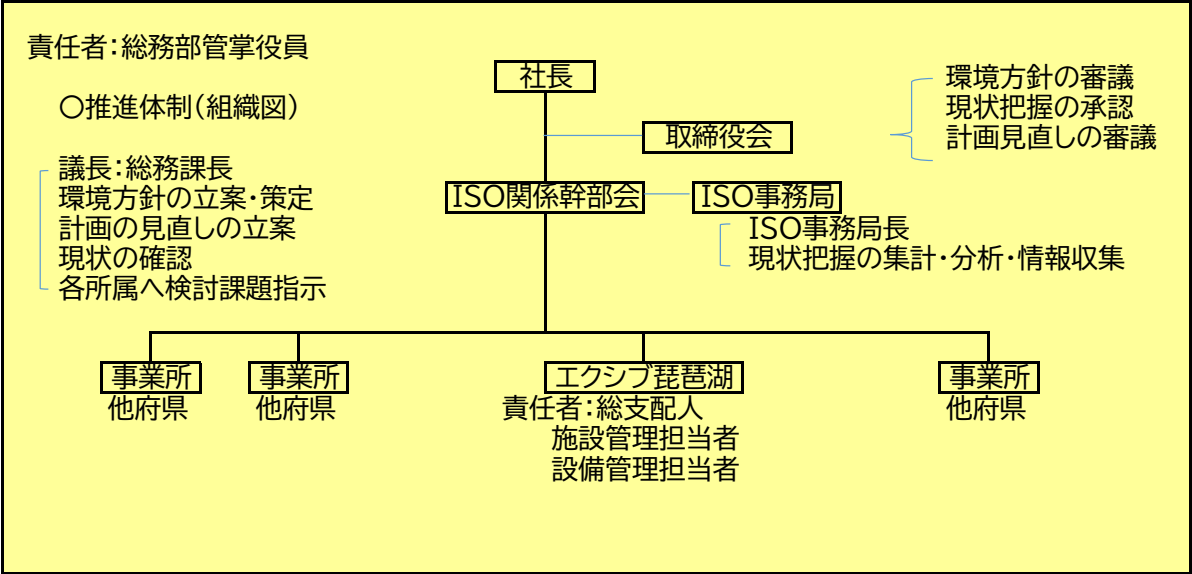
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

リゾートトラスト株式会社は『夢と感動とやすらぎ』を提供し、最上のホスピタリティの実現のために、会員制リゾート事業をはじめとする様々な事業活動を通じて、常に価値あるサービスを提供することに努めています。私たちは、それらを実現するための企業行動が地球環境に様々な影響を与えていることを認識し、環境との調和を図り、社会との共生に努めながら、社会や地球環境に貢献します。事業活動を通じて環境負荷を低減するシステムを作り、継続的な維持・改善に努めます。

- ①環境に配慮した商品の提供
- ②省エネルギー・省資源に取り組みます
- ③廃棄物の削減とリサイクルの促進に取り組みます
- ④環境保全啓蒙活動など環境負荷の低減を図ります
- ⑤環境に関する法律、規制、協定を遵守します
- ⑥グループ会社やビジネスパートナー等に対し当社の方針を示し、理解と協力を求めます
- ⑦地域社会とのコミュニケーションを図り、適切な情報提供に努めます

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・温室効果ガスの排出削減に関すること
- ①熱源機器の燃料をA重油から都市ガスに転換(2009年度)
(国内クレジットに登録)
- ・省エネルギーに関すること
- ①白熱電球及び蛍光灯をLED電球に交換 取替可能な電球及び器具の約92%を交換済(2022年度現在)
- ②社員用エレベーター利用制限(2アップ3ダウンの励行)
- ③照明スイッチの細分化、器具スイッチ対応による不必要部分の消灯厳守
- ④機械室・電気室などの換気設備の停止(自社独自の省エネルギー管理シート利用)
- ⑤熱源機器の運転制御(ピーク時間運転制御・外気温による運転台数制御)
- ⑥ポンプ・ファン等にインバーター設置
- ⑦高効率型のエアコンへの更新 特定フロンガスR-22→R410A機器へ更新
- ⑧ガス熱源機器の空気比 1.4→1.2 調整 (省エネ目的)
- ⑨館内DLをLED器具に交換(2027年までに蛍光灯をすべてLEDに更新)

・以上の取組みにより、原油換算(Kℓ)平成24年度対比で約17%減
平成24年度 2,329KL → 令和2年度 1,782KL → 令和6年度 1,940KL

・温室効果ガス排出量 平成24年度対比で約6%減
平成24年度 3,840t-co₂ → 令和2年度 2,807t-co₂ → 令和6年度 3,623t-co₂

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	COPの高い空調機への更新	R4年度～	空調機系統3系統更新
2	運用改善	省エネルギーの推進 白熱灯・蛍光灯をLEDへ更新	R4年度～	館内DLをLED化500台以上
3	運用改善	熱源機器の運転管理徹底(負荷変動に応じた台数制御)	R4年度～	継続実施中
4				
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記の取組等により、令和3年度を基準として、以下の数値目標の達成を目指す。</p> <p style="text-align: center;"> 温室ガス排出量 t-co2 原単位 = ----- 毎年 1%の削減 建物延べ床面積 m² (36,351m²) </p> <p>原単位の考え方は以下の通り ・温室効果ガスの排出量は客室稼働状況・客数により左右されるため 原単位分母は建物延べ床面積に設定。 ・関西電力のCO₂排出係数はR3年度 0.362に固定して評価</p>	<p>【R6年度評価】 夏場の平均気温上昇に伴い、 目標の1%削減が出来なかった。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(2022)年度	(2023)年度	(2024)年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	1,985	2,051	1,909	1,940		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3,246	3,032	3,353	3,623		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	3,246	3,032	3,353	3,623		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0		
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		1,985	2,051	1,909	1,940		

備考 「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	太陽光発電設備の導入 社員駐車場を利用した420KW規模	R5年度中	敷地内に設置場所が無い ため、太陽光駐車場照明1基設置
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						